

各位

全2ページ
登録速報(2022-190)
2022年 8月 29日
クミアイ化学工業株式会社
企画普及部普及課

登録速報

下記の通り、注意事項変更届けを提出しましたので、ご連絡します。

提出日：2022年8月26日

(注意事項は届けを提出した段階で、登録変更となります)

記

1. 農薬の登録番号及び名称

登録番号：第24357号

名称：シヨキニー1キロ粒剤

2. 変更を生じた年月日

令和4年8月26日

3. 変更を生じた事項及び変更の内容

農薬登録申請書第7項「農薬の使用上の注意事項」に、1)として以下の記載を追加し、以降を繰り下げ、別紙【変更後】のとおりとする。

【追加】

1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。

4. 変更の理由

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」の対象化学物質が見直され(令和3年10月20日公布)、本剤に使用している物質が新たに法の対象となり、注意事項の追加が必要となったため。

別紙

7. 農薬の使用上の注意事項

【変更後】

- 1) 使用量に合わせ秤量し、使いきること。
- 2) 本剤は雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1葉期までに時期を失しないように散布すること。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意すること。ホタルイ、ミズガヤツリは1葉期まで、ヘラオモダカ、クログワイ、シズイ、コウキヤガラは発生始期までが本剤の散布適期である。
- 3) クログワイに対しては発生期間が長く、遅い発生のものには効果を示さないので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用すること。
- 4) 苗の植付けが均一となるように、整地、代かきはていねいに行い、ワラくずなどの浮遊物はできるだけ取り除くこと。また、未熟有機物を施用した場合は特にていねいに行うこと。
- 5) 散布に当たっては、水の出入りを止めて湛水状態のまま本剤を田面に均一に散布し、少なくとも3~4日間は通常の湛水状態（水深3~5 cm程度）を保ち、田面を露出させたり、水を切らしたりしないよう注意し、また、散布後7日間は落水、かけ流しはしないこと。
- 6) 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ること。
 - ① 散布は使用機種の使用基準に従って実施すること。
 - ② 散布に当たっては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて散布装置の開度を調整すること。
 - ④ 散布薬剤の飛散によって他の作物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布装置のインペラの回転数を調整し、ほ場の端から5m以上離れた位置からほ場内に散布すること。
 - ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
- 7) 以下の水田では初期生育の抑制を生じるおそれがあるので使用をさけること。
 - ① 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2 cm/日以上）
 - ② 軟弱徒長苗を移植した水田
 - ③ 極端な浅植や深植をした水田
- 8) れんこん、くわい、せりなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意すること。
- 9) 本剤処理後の田面水を他作物に灌水しないこと。
- 10) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合や異常気象時は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

以上